

平成29年度第2回少年愛護センター運営委員会 会議録

1 日 時 平成29年 3月22日(水) 19:30~20:30

2 場 所 あわら市中央公民館 第2会議室

3 所長挨拶

4 副委員長挨拶

5 議 題

平成28年度事業報告並びに補導活動報告について
平成29年度4、5月の街頭補導計画について

6 出席者

【愛護センター運営委員】

山本 篤 長谷川 巧 中島 正文 清川 勝浩 大崎 正明 大廻 良一
巻田 真由美 時岡 博之 藤井正浩 林 清一郎 江川 ヤエ子 中嶋 由昭
渡辺 哲夫 細川 英正 山田由喜雄 長谷川 幸子 佐孝 修彦
順不同 敬称略

【事務局】

大代 紀夫(愛護センター所長・教育長)
川島 清一(愛護センター事務局長) 児嶋 悦子(愛護センター専門補導員)
中村 嘉之(あわら市教育委員会文化学習主事)

7 会議経過

山本副委員長が議長となり議事を進める。

平成28年度事業報告並びに補導活動報告について(児嶋専門補導員)

平成29年度4、5月の街頭補導計画について(児嶋専門補導員)

相談内容について

思春期の男子高校生にありがちな性欲求の相談で3件とも同じ高校生である。

家庭の日の広報活動について

家庭の日について、現状は市の行事や部活動などで家庭の日とは言いがたい。

2、3ヶ月に1回または1年に1回でいいので本来の家庭の日を持って欲しい。

青少年健全育成ということで、広報活動で巡回するということに少しは効果がある。また、部活動については、土、日またはウィークデーの中で1週間に1回は休ませようということで実践している。ただ子ども達の、休みの日の過ごし方に問題がある場合がある。家に帰っても誰もいないとか無理に外出をされるといった状況がみられる。一番問題なのは中学生になる

と、家族と過ごさなくなる。例えば田舎であれば、畑仕事を手伝ってもらったり、そういうことを啓蒙していきたい。地域で見守ってこういう核になる人を精一杯応援していくことを考えている。

芦原中学校では、生徒に夏休みの間、地域の行事に参加することを勧めている。夏休み後のアンケートでは、あわら夏祭りや社会奉仕に参加したなどの報告が上がっているが、割合的にはまだまだである。また、部活動指導については、先生方に温度差がある。休みについては坂井地区内で統一化されていないので、休めないという先生方もいる。また、小学校からのスポーツ少年団との関連もあり、芦原中学校だけがということもできないので、もっと大きなところで全体的に家庭の日には家庭に返すという取組をしてほしいと思う。

金津中学校でも先生方に意識の温度差はある。部活動は絶対という先生もいれば社会体育への移行を願う先生もいる。また、保護者や生徒にも温度差がある。そのバランスをとるのが難しい。やりすぎとか休みが多いなどまとめるのが難しい。最終的には地域と学校長の判断が必要である。各地域で共通理解を持って休みを約束することが必要。子どもが元気でいないと頭も体も働かない。

中学校の部活動で、専門でない先生や外部の人に入ってもらいたいと思っている先生、生徒指導も兼ねて子ども達を見るのは苦ではないと思っている先生などいろいろいる。共通していえることは、先生方にも子ども達にも休養が必要。坂井市とあわら市の教育委員会では努力事項として、小学校では週2回、中学校では週1回を一斉退庁の日とすることを校長会で呼びかけて現在実践している。

8 意見交換・質疑応答内容（概要）

<インターネット関連について>

- ・インターネットウィルス感染について福井県の高校生がしたというニュースが流れた。あわら市スマートルールができたが、あわら市内でネット犯罪に関わったという事案はどうか。

あわら市内ではそういう事案はないと聞いている。ただ、先ほどの高校生の件のように個人情報が見られるということは知っていたほうがよい。シグナルに載っているスマートルールを広げていくことが必要。

ウィルス関係について、学校ではプログラム学習が叫ばれており、論理的に進めていくことになっている。プログラム学習自体は悪いものでないことを理解してほしい。

モラル的なものも教えていくこともお願いしたい。

9 その他 文化学習課より

- ・資料「きずな」を提示し青少年健全育成へのご協力とご協力をお願いします。
- ・運営委員について2年任期であるが、年度初めに伴い委員の交代があった場合は、

事務局まで連絡してほしい。